

第11回

現代語・現代文化フォーラム

(共催: 筑波ドイツ文学会)



2008年10月30日(木) 16:45~18:00

人文社会学系棟7階 B721会議室

Michail Kotin

(ポーランド・ジェローナ=グラ大学教授)

「文法化」と「語彙化」

— 言語変化における不可逆性と単一方向性 —

Kotin 先生はロシア出身の言語学者で、ドイツ語史・独露対照言語学・記号論などの分野について多くの著作を発表されています。今回「文法化」現象の根幹に関わるトピックについて筑波大学で講演いただけることになりました。ドイツ語や言語史に関心をお持ちの教員、学生の皆さんの参加を歓迎いたします。

お問合せ: 人文社会科学研究科 現代語・現代文化専攻
言語情報分野 黒田 享(内線 4158)